

11/14 平坂地区 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
1	中畑地区の「ふれあいセンター」の整備に関する進捗状況 〔中畑〕	<p>【質問】 中畑地区におけるコミュニティ活動の拠点となる「ふれあいセンター」の整備に関しては、平成28年度に基本構想がとりまとめられ、今後は、この基本構想を基に、基本計画、実施計画、工事着手・完成と着実に進められることを望みますが、今後のスケジュール、具体的な建設計画はどのようになっていますか。</p>	<p>中畑地区のふれあいセンターの整備に関する基本構想につきましては、市の公共施設再配置計画や財政面を考慮しながら、建設する用地や、公民館機能と複合させる機能等を検討し、国の補助制度も活用できる方法も考えながら策定にあたりました。 今後のスケジュールといたしましては、まず建設用地の確保や、整備に必要な予算の確保に努めてまいります。それができれば、数年の間に基本設計や実施設計を行い、工事に着手してまいりたいと考えております。</p>	生涯学習課
2	矢田小学校区の住民増加に対する教育現場の対応遅れ 〔矢田〕	<p>【質問】 矢田小学校区の住民増加が分っていたにも関わらず、推移予測がされていなかったと思われます。その結果、小学校では教室不足など、保育園では職員不足などが発生しています。なぜこうなったのか、理由と今後の対応を時系列をもって説明してください。 「1,000人になることはいつから予想されていたのか。分かっていたとしたらなぜ対応できなかったのか。生徒が増えればもちろん戸数が増え、共働き戸数が増加することも分かっていたはずだが、教員数のやりくりが出来ておらず教育に支障はないか」といったことが、すべて曖昧な予想から始まって後手になっています。どのように收拾をつけるのか明確にお答えください。</p>	<p>矢田小学校におきましては、平成28年度に軽量鉄骨校舎の8教室を増築しましたが、増築時の児童数の推移予測では平成28年度の30教室、児童数840人をベースとして、平成29年度は33教室、児童数約900人となりました。その後も年々増加し、平成31年度には児童数が1,000人を超え、平成34年度には38教室、児童数約1,080人となり、8教室が不足するという予測で8教室を増築いたしております。 しかしながら、これらの推移予測は出生率をもとに過去（前年度）の平均値にて算出しており、転入転出等の要因を入れ込むことは非常に難しく、この推移予測には加味できませんでした。 今後も矢田小校区では区画整理等により年々児童数が増加することが想定されており、また児童数の推移予測をより正確に捉えることは、対応策を講じるためには必要不可欠と考えており、専門業者への事業委託も予定しております。 その推移予測をもとに、児童数及び教室の不足数の想定を行い、学校用地の拡張のために用地を確保し、増築することを大前提に小学校と十分協議をしながら教室不足が生じないように対応してまいります。 なお、教員数については、学級数に応じた県の教員定数配当基準により適切に対応しております。</p>	教育庶務課
3	信号交差点での右折車による交通渋滞 〔矢田〕	<p>【質問】 JA西三河矢田平東支店近くのコンビニがある交差点と、その南の上矢田交差点が非常に混雑し、渋滞しています。西尾市街地から寺津方面に行くとき、これら交差点を右折する車があれば、信号を1回ほど待たなくてはなりません。よい解決方法がありましたらお聞かせください。</p>	<p>ご質問の道路は県道刈宿住崎線と思われますが、この道路を管理する愛知県へ渋滞対策の計画について問い合わせたところ「これらの交差点については、現在のところ右折車線設置などの交差点改良計画はありません」とのことでありました。 右折車両に起因する渋滞の解消方法としましては、矢印信号の設置が一般的ですが、当該交差点は2箇所とも右折専用通行帯がなく、また、この通行帯を設置するための用地確保も困難であるため、現在のところ右折矢印信号を設置することができない状況となっております。 しかしながら、南側の上矢田交差点においては、交差をする市道側に歩道設置の計画がありまして、現在は設置に向けた用地交渉を行っております。今後、用地の協力が得られましたら、この歩道設置に合わせて当該交差点に歩行者のための滞留スペースを確保し、その後において公安委員会と時差式信号などの設置協議を進めてまいります。</p>	子ども課 土木課

11/14 平坂地区 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
4	旧名鉄三河線跡地を活用した道路の整備 〔平坂〕	【要望1】 楠村町向山、東前田、南・北荒子等は、住宅が密集しており、道路事情が悪く、その上、朝夕の通勤ラッシュと子どもの通学時間帯が重なるため「安全・安心に通学させることが心配」との父兄及び近隣住民からの指摘が再三あります。 このことから、楠村天満宮横の旧三河線跡地に歩道付き道路の新設をお願いします（工事要望書提出済み）。	旧名鉄三河線跡地につきましては、今後の整備計画等を踏まえ、市が道路・水路用地として必要であると判断した場所103箇所について、平成29年3月17日に最終的な市の意向として名鉄に伝えております。 ご要望いただきました箇所につきましては、限られた財源で道路整備を行っていく中で実施することは難しいと考えており、跡地取得の予定はありません。まずは、当該地域の南北軸となる田貫徳永線の整備を進めてまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。	企画政策課 土木課
		【要望2】 楠村町内で標高が2.0m以下と低い東前田、南浜屋敷、北浜屋敷の地域の洪水、津波の避難場所となっている富山公園への経路として、楠村町の北荒子から富山町の郷西までの横断道路を早期に整備してください（工事要望書提出済み）。	ご要望いただきました箇所につきましては、道路整備を予定しており跡地取得予定箇所として名鉄と交渉を進めているところです。現在、名鉄が三河線廃線敷地の用地確定測量を行っており、取得に向けて用地の価格交渉等を行っていく予定です。整備の条件が整い次第対応してまいります。	企画政策課 土木課
5	平坂入江の防災・減災 〔平坂〕	【質問】 平坂樋門の改修工事は間もなく完了しますが、護岸の強度を心配しています。護岸強度の調査は県が行っているとお聞きしていますが、調査はどの程度まで進んでいますか。	護岸強度の調査について、管理者であります愛知県衣浦港務所に問い合わせたところ「平坂樋門南側の護岸については、平成27年度に調査を開始し、平成29年度中には完了する見込みで、その後は、調査結果に基づき、地震津波対策として護岸補強の整備を進めていきたいと考えております」とのことでありました。	河川港湾課
		【要望】 平坂樋門から上流は、水深が浅いため貯水量が少なく、水災害の発生原因となっています。そこで、過去には浚渫をしていただきましたが、兩岸の護岸壁の強度が弱く十分な浚渫ができませんでした。平坂樋門から上流、平坂橋までの防災・減災対策として、護岸補強を施工していただけませんか。	護岸補強について、管理者であります愛知県衣浦港務所に問合せたところ「平坂樋門南側の護岸補強後、引き続き平坂樋門から上流の護岸についても護岸補修の整備を進めていきたいと考えております」とのことでありました。 なお、10月4日には、愛知県知事が会長を務めます愛知県河川海岸堤防等地震津波対策事業推進協議会の一員として国土交通省に出向き、堤防等の耐震対策事業への補助拡大の要望活動を行ってまいりました。	河川港湾課